

取付説明書

設置と接続



7V型ワイドモニター 2DIN AVシステム
HDDカーナビステーション



TV/DVD/MD/CD内蔵
リヤビューカメラセット

品 番

CN-HDS635RD

TV/DVD/MD/CD内蔵

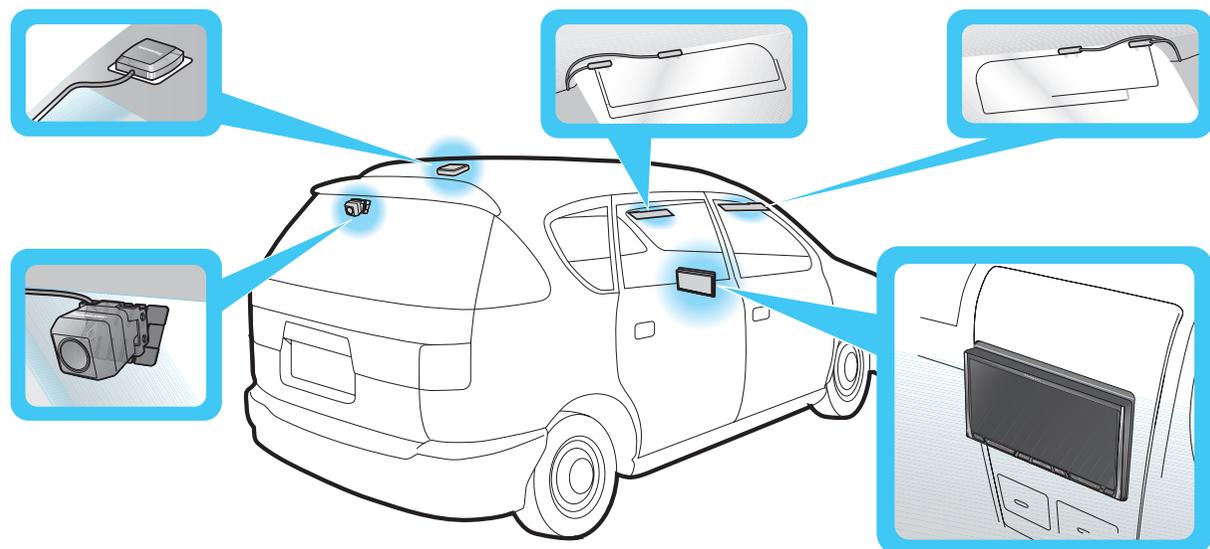
CN-HDS635D

TV/DVD/CD内蔵
リヤビューカメラセット

CN-HDS625RD

TV/DVD/CD内蔵

CN-HDS625D



※リヤビューカメラは、HDS635RD/HDS625RDのみ

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書(ナビ編)の「安全上のご注意」(6～11ページ)を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は再生紙を使用しています。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(裏面 下記)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(裏面) また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(裏面)

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品 名	数量
ナビゲーション本体関係		
1	ナビゲーション本体	1
2	座付きねじ (M5×6 mm)	4
3	皿ねじ (M5×6 mm)	8
4	スペーサー/両面テープ	各4
GPS アンテナ関係		
5	GPS アンテナ (コード6 m)	1
6	防水ゴム (GPS アンテナコード用)	1
7	金属シート (車内取付用)	1
8	保護シート (車外取付用)	1
9	コードクランパー	5
リモコン関係*1		
10	リモコン	1
11	単3形乾電池	2
12	リモコンホルダー	1
13	両面テープ (20 mm×50 mm)	1

番号	品 名	数量
コード関係		
14	電源コード	1
15	車速信号中継コード (桃色: 1.5 m)	1
16	車両インターフェースコード	1
17	AVコード	1
18	圧着式コネクター	4
TV・FM多重アンテナ関係		
19	TV・FM多重アンテナ左右	各1
20	TV・FM多重アンテナコード左右 (4 m)	各1
21	アーステープ	2
22	コードクランパー	10
リヤビューカメラ関連*2		
23	リヤビューカメラ (コード8 m)	1
24	カメラブラケット	1
25	ワッシャー付きねじ (M3×6 mm)	2
26	六角レンチ	1

その他の付属品

品 名	数量
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1
クリーナー (TV・FM多重アンテナ用)	1

主な添付品

品 名	数量
基本操作ガイド	1
取扱説明書 ナビゲーション操作編	1
取付説明書	1
はじめて使うときの準備	1
取付ゲージ	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1

※1 リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書「ナビ編」18ページをご覧ください。

※2 HDS635RD・HDS625RDのみ

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブシステムズ社

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-1573

受付 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・当社休日を除く)

※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

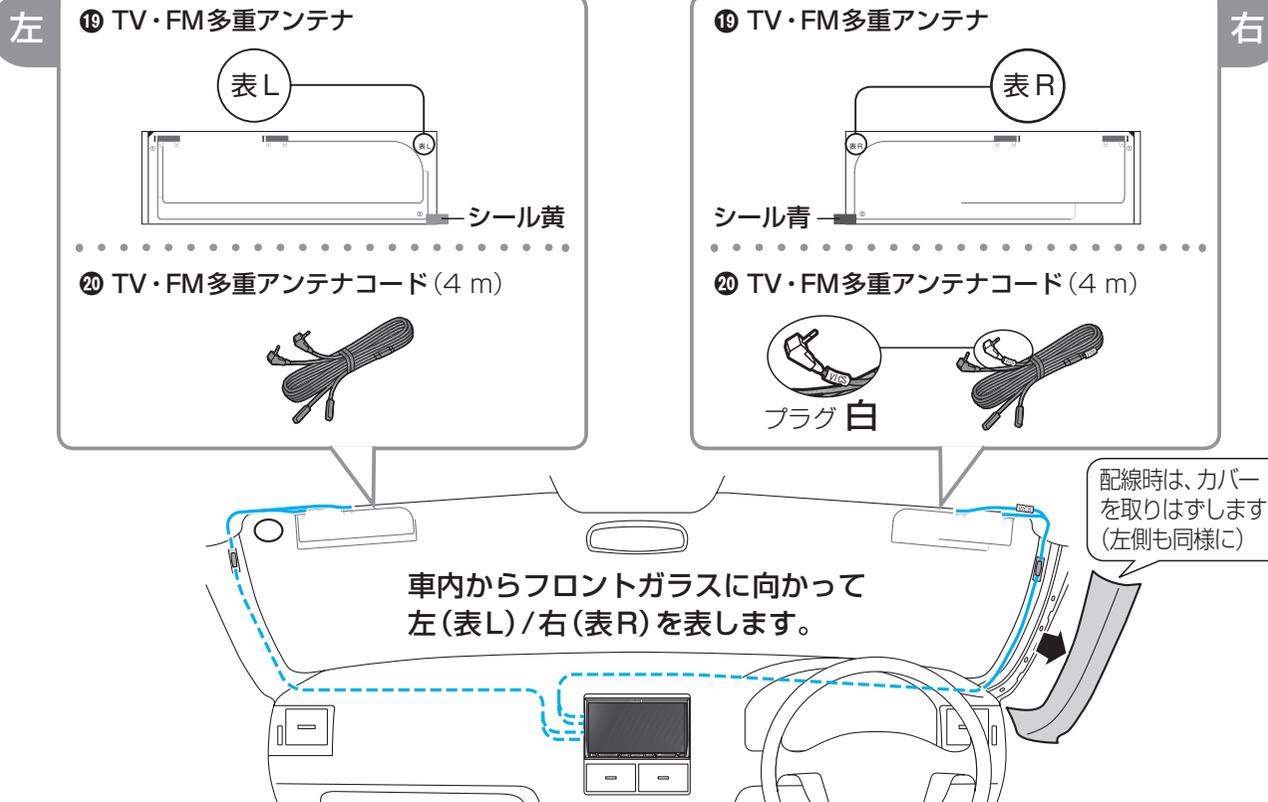
TV・FM多重アンテナの貼り付けかた

貼り付ける前に

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置(左右)をご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、お買い上げの販売店にご相談ください。

必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。

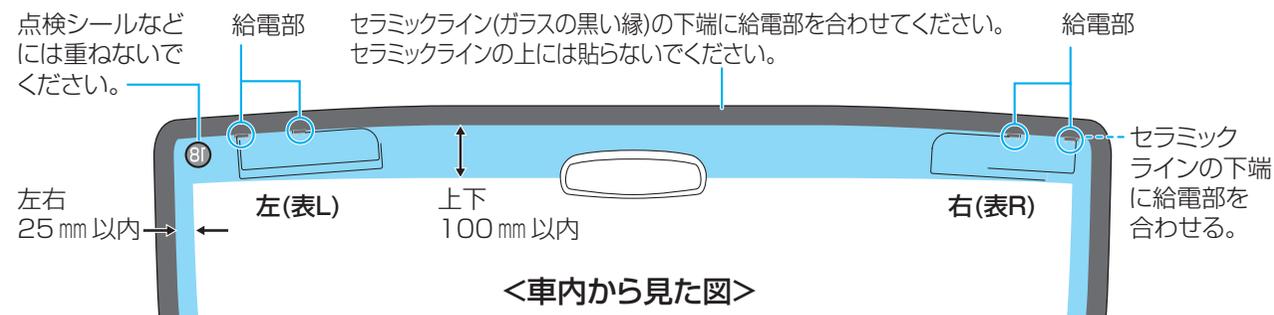
- サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 左ハンドル車の場合も、図のとおり貼り付けてください。(左右逆に貼らないでください)
- アンテナを折り曲げないように、取り扱いにご注意ください。



■ 取付許容範囲について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



付属のクリーナー (TV・FM多重アンテナ用) で、設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取ってください。

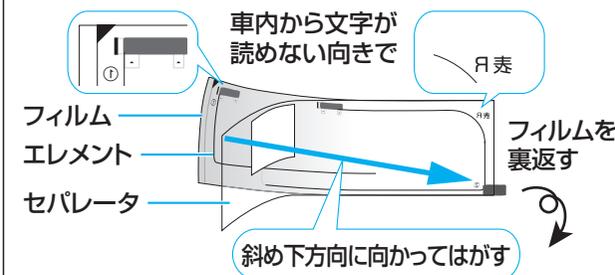
右用のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける

- フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。

① セパレータをはがす。

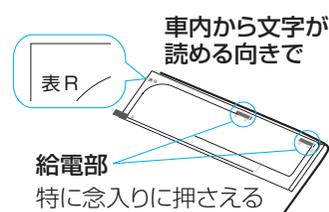
- 急にはがさないでください。
- フィルム・エレメントの糊面に触らないでください。



エレメントがセパレータ側に残る場合

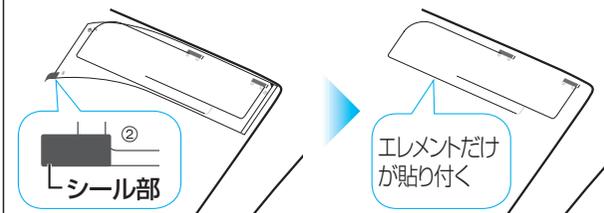
- ① セパレータをもとに戻す。
- ② 文字が読める側を上にして、ドライバーの柄など先が丸く硬いものでエレメントをこする。
 - 先のとがったものでこすらないでください。
 - 同じ部分を何度も強くこすらないでください。
- ③ 再度セパレータをはがす。

② エレメントをしっかりガラス面に密着させる。



③ フィルムをはがす。

- シール部を持って、フィルムの②部からゆっくりと、エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながらはがしてください。



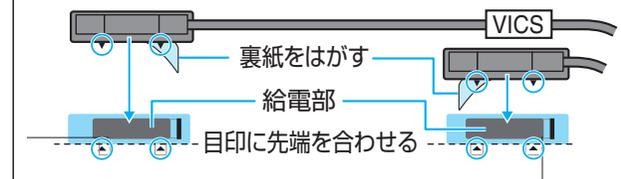
- エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。

2 アンテナコードを取り付ける

- コードの左右を必ずご確認ください。また、VICSタグ付きのコードを貼る位置をご確認ください。(タグのあるものが右用です)

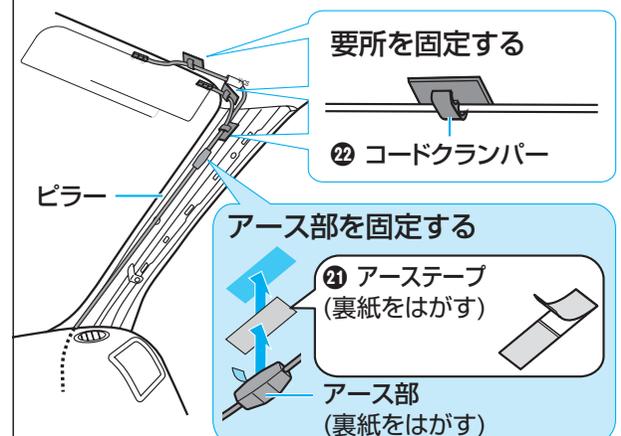
① 車の内張り(ピラーのカバー)を取りはずす。

② アンテナコードの端子を給電部に貼る。



③ アース部をピラーの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。
- 必ず、アース部の下にアーステープを貼り付けてください。受信感度が低下する原因になります。



- 配線後、カバーをもとに戻してください。

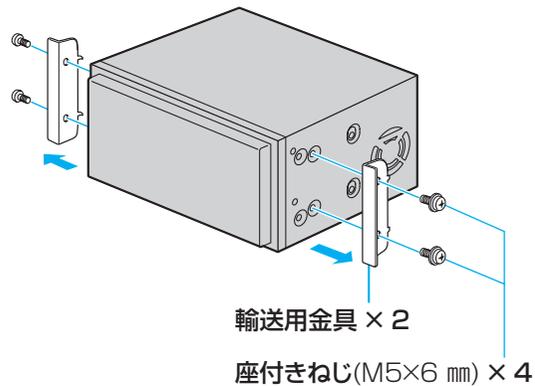
④ アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。(裏面)

- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

ナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に ● 輸送用金具をはずしてください。

① ナビゲーション本体



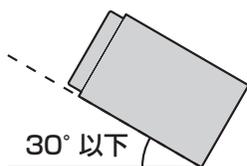
取りはずした座付きねじ (4本) は、取り付けに使用する場合があります。

■ 取り付け部の寸法・角度の確認

- センターコンソールの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- オーディオスペースが2DINサイズでない場合は、販売店にご相談ください。

2DINサイズ (横 180 mm × 縦 100 mm)

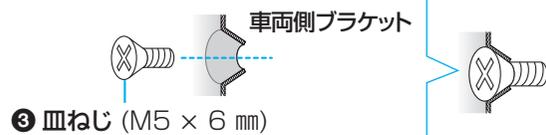
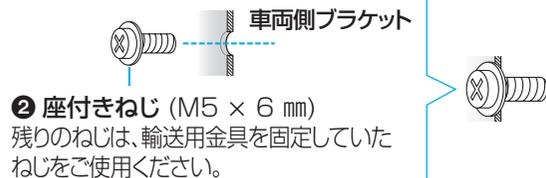
- 水平に対して、30° 以下の角度で取り付けてください。取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。



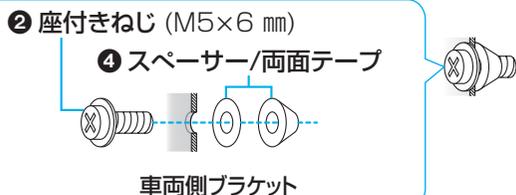
お願い

- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因になります。
- エアバッグや盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーをはずすと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

付属のねじは、取り付け金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。



ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。

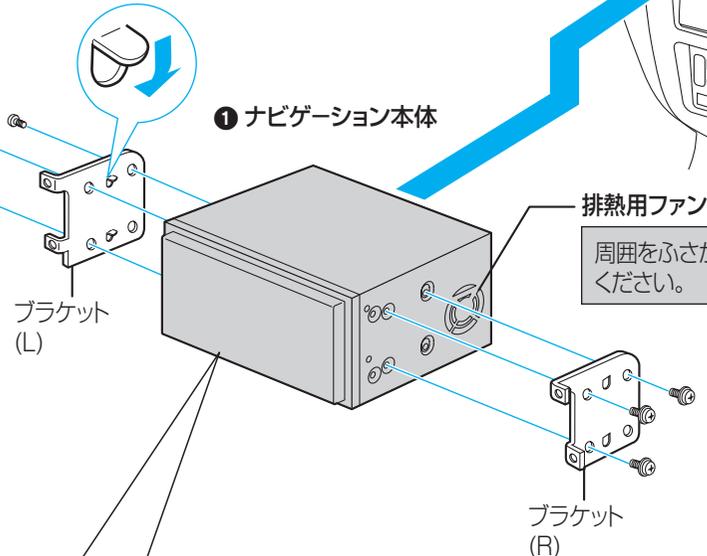


お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線 (コネクターやコード) に負担がかかり、接続不良の原因になります。

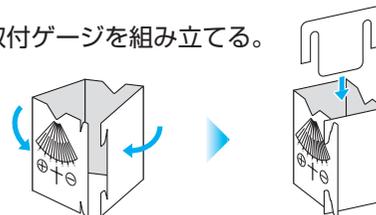
取付例

ツメがある場合は、ラジオペンチなどで平らに折り曲げます。



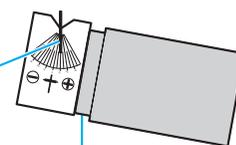
■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で、取付ゲージの ⊕ 側をナビゲーション本体の前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。

この部分が示す角度を見る。



モニターの傾きを変えずに (全閉状態で) 測ってください。

③ 取付角度を設定する。(裏面)

お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付けの際にも取付角度の設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

使用する取り付け金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店にご相談ください。

● トヨタ車 (DINサイズ採用車)

純正カーオーディオを固定していたブラケットをご使用ください。

● 日産・本田・マツダ車 (DINサイズ採用車)

別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットをご使用ください。

● 上記メーカー以外の車

別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットをご使用ください。

お知らせ

- 年式、車種、グレードにより、専用キット (別売) が必要な場合がありますので、販売店にご相談ください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード (別売) がありますので、販売店にご相談ください。

GPS アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

車外に取り付ける(推奨)

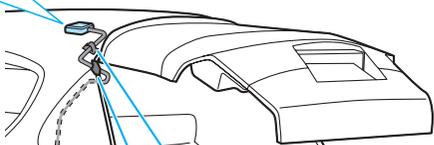
ルーフの平らな面に取り付けてください。



※ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

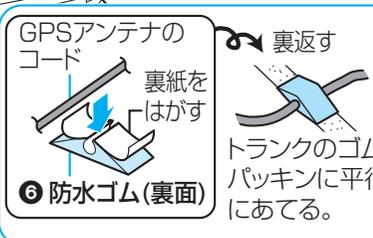
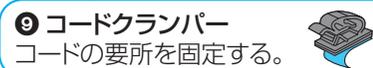
車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。



お願い

- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。



ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。



コードをドライバーなど先のとがったもので押しすぎないでください。コードが傷つき故障の原因になります。



お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(取扱説明書「ナビ編」)にご相談ください。

お願い

- 金属シートは、必ず、付属の金属シートを使用してください。折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなったりする場合があります。

リヤビューカメラの取り付けかた HDS635RD・HDS625RDのみ

取り付ける前に

ナビゲーションの配線が完了してから、カメラ本体の取り付け・配線を行ってください。

- 事前に仮止めして、取り付ける位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- 設置面の汚れ(ごみ、油、ワックス)などを市販のクリーナーなどできれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、5分ほど車内ヒーター、デフォグガー、ドライヤーなどで温めてください。

しっかりと取り付けるために

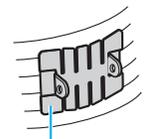
- 取り付けたあと、24時間放置する
雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は、さしつかえありません)
- 雨天時は野外で作業しない
ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。

お知らせ

- フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。

1 カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

- ① 取り付ける面に合うように、カメラブラケットを整形する。(裏紙をはがさない)
- ② 裏紙をはがして、カメラブラケットをしっかりと密着させる。

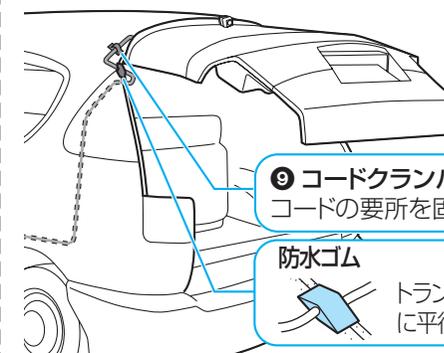


24 カメラブラケット

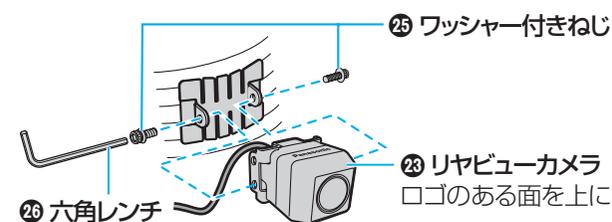
- 接着面に手を触れないでください。
- 貼りなおさないでください。

3 車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。

- ハッチバックの場合には、ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。

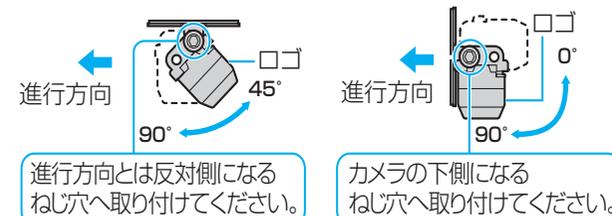


2 カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。



側面図

カメラを取り付ける位置により、使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。



進行方向とは反対側になるねじ穴へ取り付けください。

カメラの下側になるねじ穴へ取り付けください。

4 バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るように、カメラの角度を調整する。

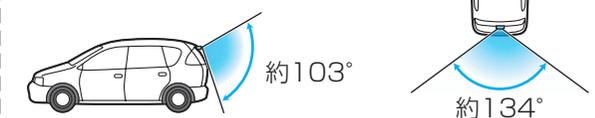
六角レンチでねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。(調整後、しっかりと締める)



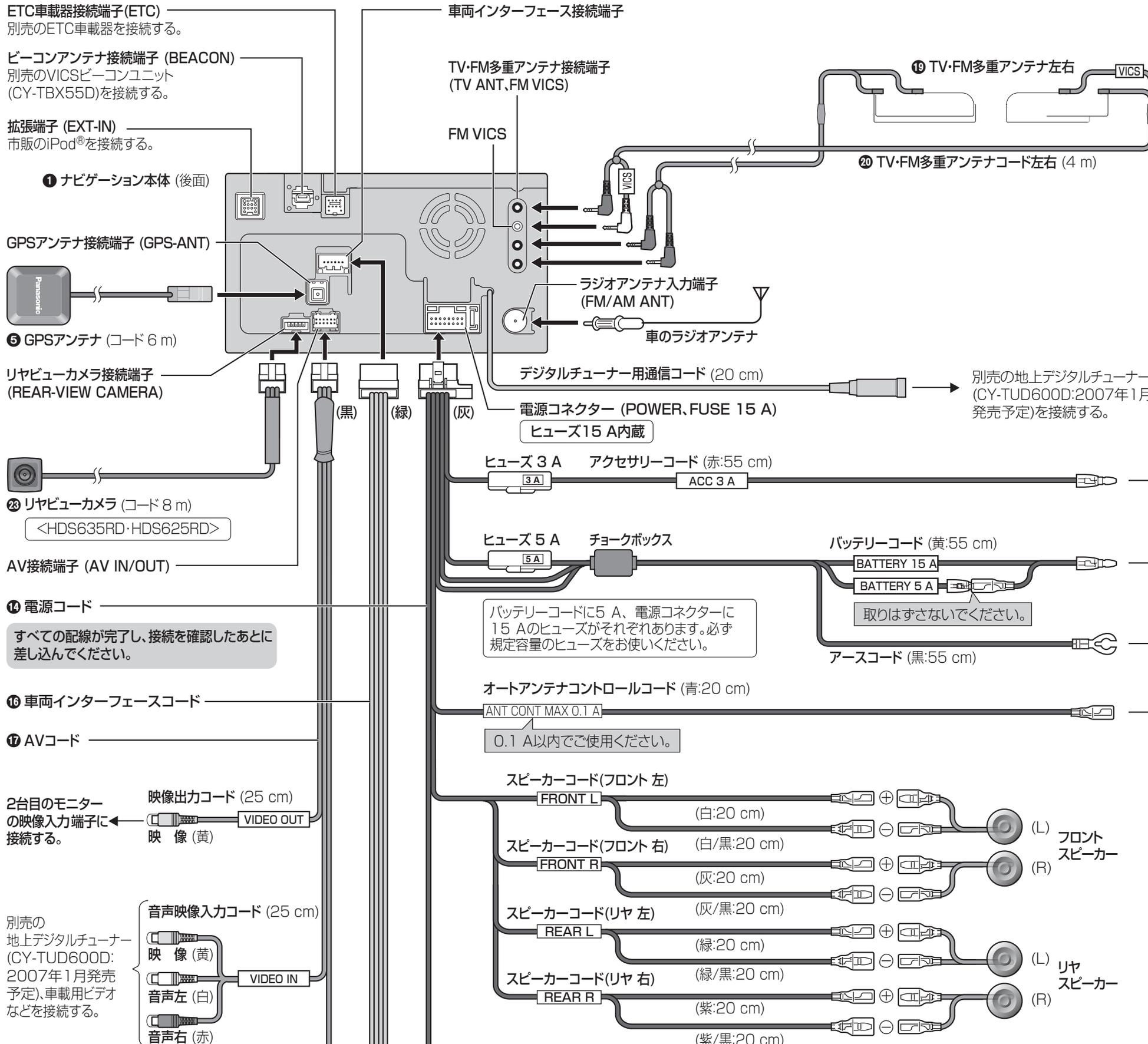
バンパーまたは車両後端部

- レンズ面には触れないでください。汚れをとる場合には、水を含ませた柔らかい布で拭いてください。(乾いた布で強くこすると、キズの原因になります。)

カメラの視野範囲



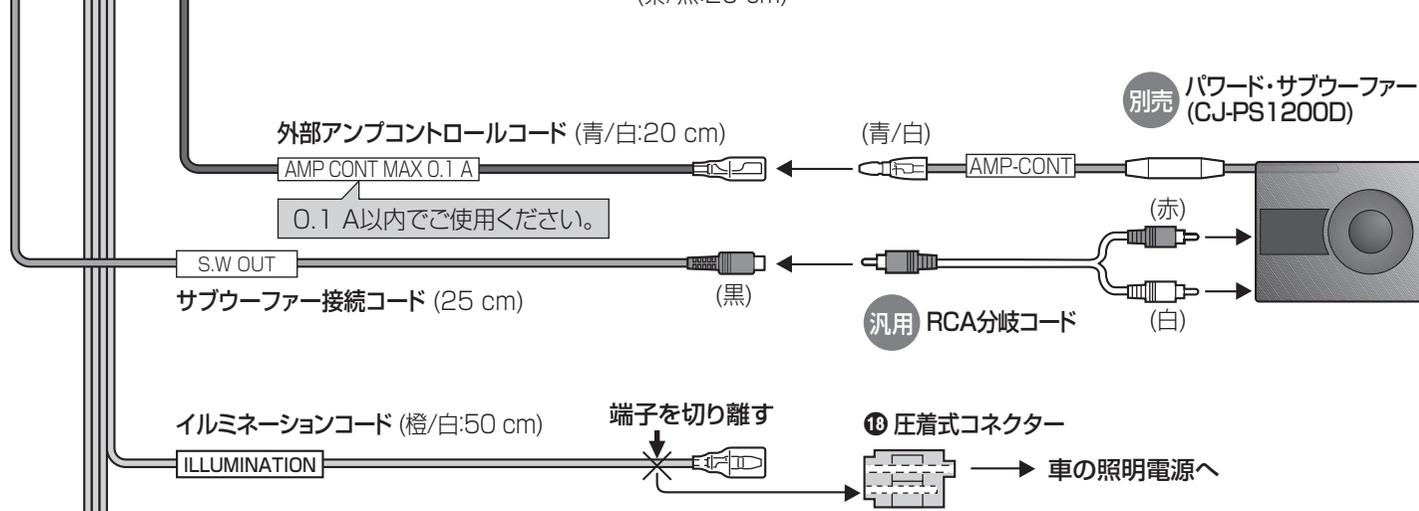
配線のしかた



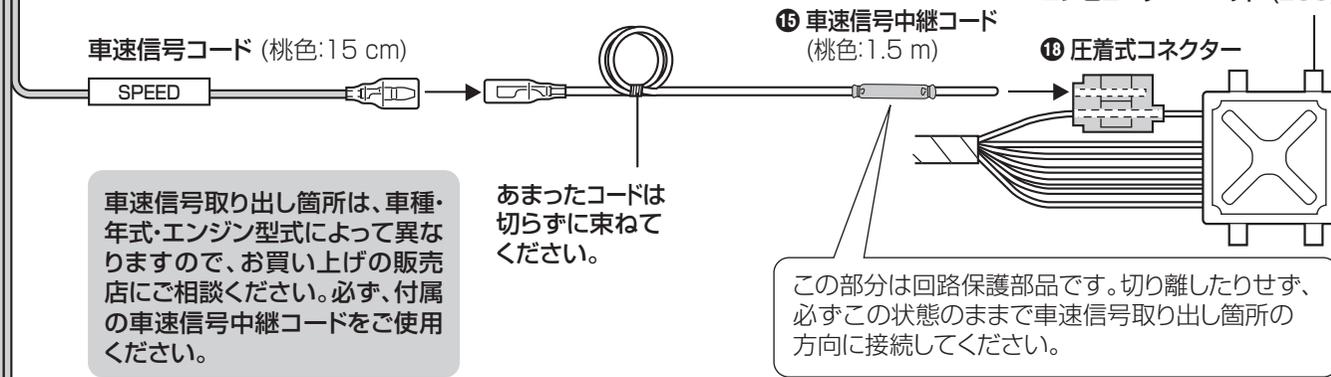
- お願い**
- コネクターは確実に差し込んでください。
 - コードは高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランプや市販のテープなどで固定してください。
 - ETC車載器接続端子に、モバイルコミュニケーションユニットやマルチメディアハブなどは接続しないでください。接続しても動作しません。
 - ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。
 - 圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。
 - キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップをはずさないでください。
 - ノイズ防止のため、TV・FM多重アンテナのコード、車のラジオアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。
 - 本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発煙・発火・破損の原因になります。

- 車のACC電源へ
エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がり
の原因になるため、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 車のバッテリーへ
常時電源が供給されている端子へ接続してください。
- 車体の金属部へ
塗装などが施されていない、金属地が露出している箇所に接続してください。
- 車のオートアンテナコントロールコード(入力端子)
またはアンテナブースターの電源入力端子へ
上記以外の場合は、何も接続しないでください。

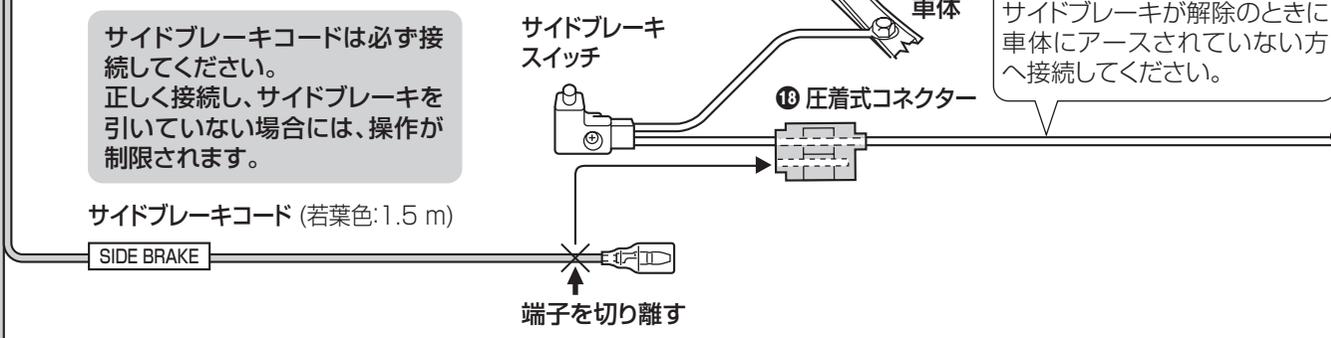
- 使用しないスピーカーのコードは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- 接続したスピーカーに合わせて「スピーカー設定」をしてください。
(取扱説明書「ナビ編」)



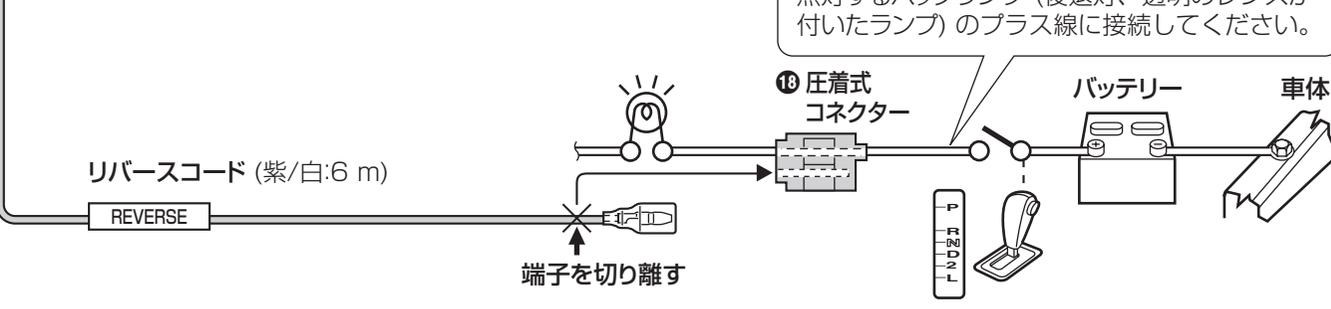
車速信号コードを接続する



サイドブレーキコードを接続する

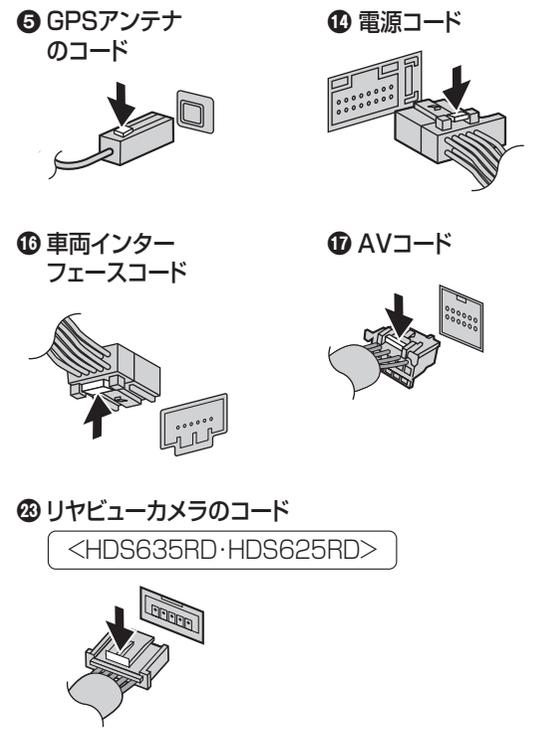


リバースコードを接続する

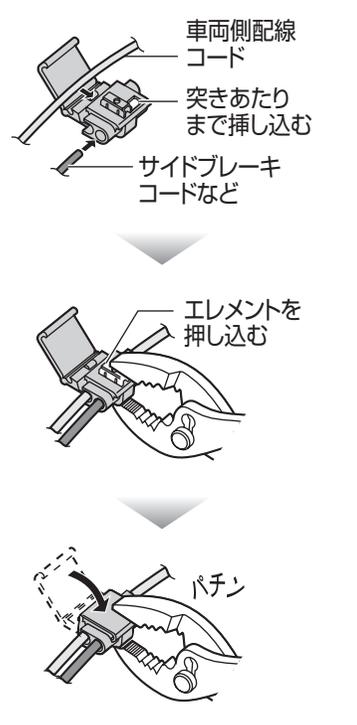


■ ロック付きコードの取りはずしかた
矢印の方向に押しながら、取りはずしてください。

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



■ 圧着式コネクタの取り付けかた



接続する各機器の説明書も、よくお読みください。

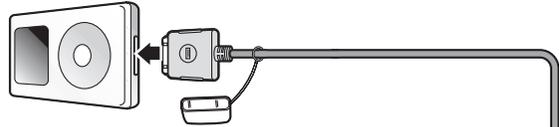
● 推奨品以外の機器と接続する場合は、ご利用できない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

市販 iPod

iPodを接続し、音楽を楽しめます。
(※取扱説明書「ナビ編」:iPodを再生する)

- iPodのほかにiPod®用インターフェースケーブル(CA-DC300D)が別途必要です。
- 本機と接続中は、iPod本体では操作できなくなります。
- 本機と接続中は、iPodは充電されます。

市販 iPod **別売 iPod®用インターフェースケーブル(CA-DC300D)**



お願い

- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け、取りはずしをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- 運転中にiPodが動かないように、ホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPodを、車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodをiPod®用インターフェースケーブルから外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- 接続するiPodの説明書も、併せてご覧ください。

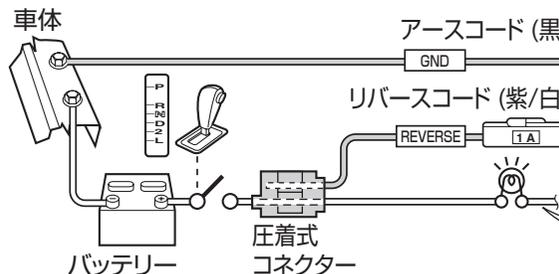
お知らせ

- 本機と接続するときは、iPodのリモコンやヘッドフォンなど、iPodのアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。

別売 リヤビューカメラ

リヤビューカメラを接続できます。

- HDS635RD・HDS625RDの場合は、付属のリヤビューカメラを使用するため、別売の車載用カメラを接続する必要はありません。
- 取り付け後、必ずカメラ割込み設定を「する」にしてください。(※取扱説明書「ナビ編」26ページ)



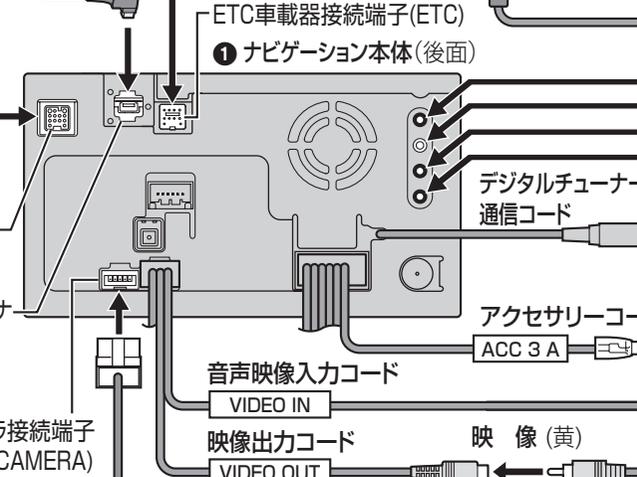
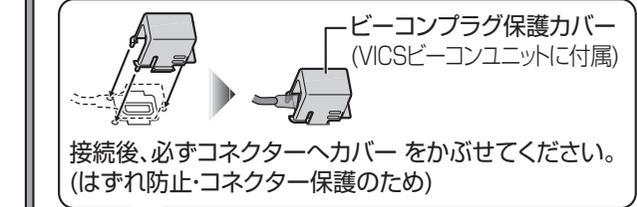
別売 VICSビーコンユニット **品番：CY-TBX55D**

電波/光ビーコンからVICS情報を受信できます。

別売 VICSビーコンユニット
(CY-TBX55D)

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンを受信できないことがあります。販売店にご相談ください。
- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンを受信できないことがあります。販売店にご相談ください。



別売 リヤビューカメラRCA変換ケーブル
(CA-LNRC10D) **品番：CY-RC50D (例)**

映像(黄) 映像用コード(5m)

別売 リヤビューカメラ
(CY-RC50D)

映像(黄)

車のシフトレバーをリバーズ(R)に入れたときに点灯するバックランプ(後退灯、透明のレンズが付いたランプ)のプラス線に接続してください。

別売 ETC車載器 **品番：CY-ET906D(例)**

料金所でETC拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。

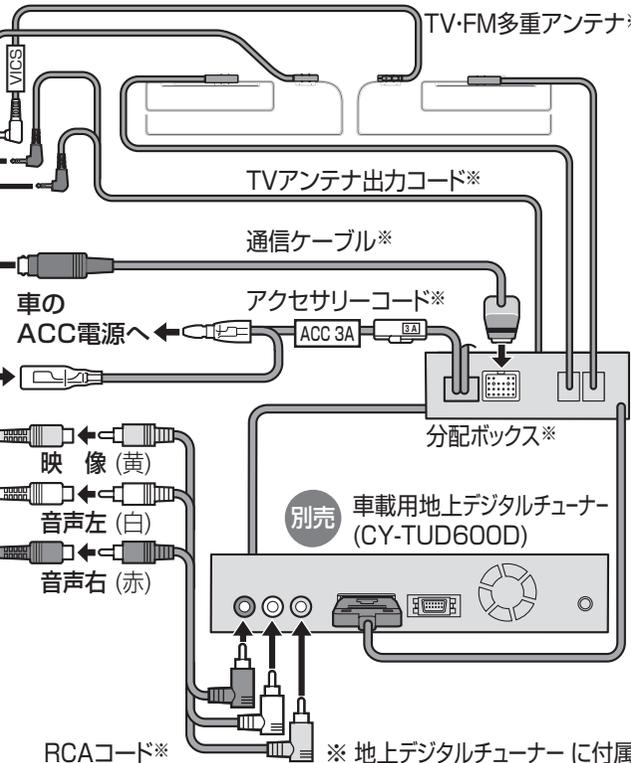
- 別売のETC車載器(CY-ET906D/KD、CY-ET806D)のほかに、ETC車載器接続コード(CA-EC31D)が別途必要です。

別売 ETC・ナビ接続コード
(CA-EC31D) **別売 ETC車載器**
(CY-ET906D)

別売 地上デジタルチューナー **品番：CY-TUD600D**

地上デジタルチューナー(CY-TUD600D:2007年1月発売予定)を接続し、地上デジタル放送を楽しめます。

- 本機に付属のTV・FM多重アンテナは使用せず、地上デジタルチューナーに付属のアンテナをご使用ください。すでに本機に付属のTV・FM多重アンテナを使用している場合は、はがして、地上デジタルチューナーに付属のアンテナに交換してください。

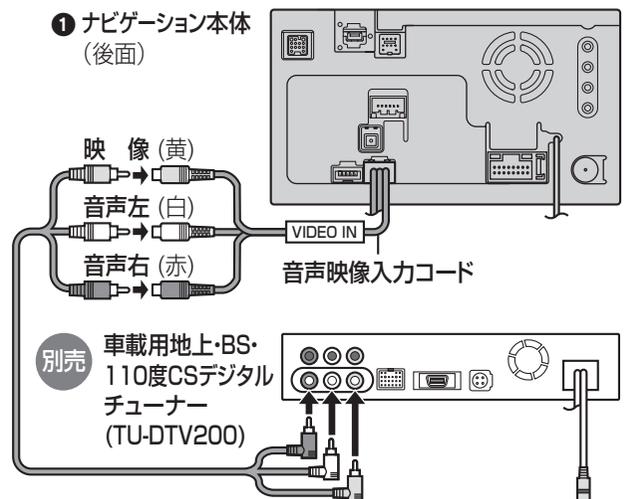


お知らせ

- 本機のリモコンを使って、本機のリモコン受信部に向けて操作してください。
- 操作のしかたについて、詳しくは地上デジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 他の地上デジタルチューナー(TU-DTV200/DTV100/DTV20)を接続する場合は、右記をご覧ください。

別売 地上デジタルチューナー **品番：TU-DTV200(例)**

地上デジタルチューナー(TU-DTV200/DTV100/DTV20)を接続し、地上デジタル放送を楽しめます。



別売 AV接続コード(映像/ステレオ音声)
[L-RAV30DR(3m)/L-RAV60DR(6m)]

リモコン受信部(地上デジタルチューナーに付属)
地上デジタルチューナーに付属のリモコンを使って、リモコン受信部に向けて操作してください。

お知らせ

- 付属のTV・FM多重アンテナは、地上アナログ放送専用です。地上デジタル放送の受信には、別売の地上デジタル放送受信用のアンテナ(TY-CA210DTF/CA200DT)が別途必要です。
- 本機に付属のTV・FM多重アンテナは、FM多重放送と地上アナログ放送(TV)を受信するのに使用するもので、必ず本機に接続してください。
- 地上デジタル放送に切り換えるには、本機のAUDIOメニューから「外部入力」を選んでください。
- 本機のリモコンを使って、地上デジタル放送を操作できません。

別売 2台目のモニター **品番：TR-T90WV1(例)**

2台目のモニターに本機の映像を表示できます。



お知らせ

- モニターにD端子がある場合は、別売のD端子ケーブル(RP-CVDG15A/30A)で地上デジタルチューナーと接続できます。

汎用 RCAコード(映像)

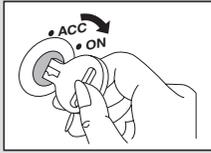
取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

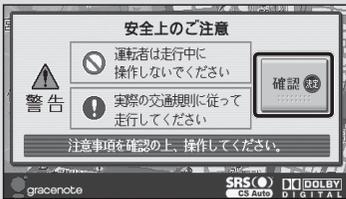
① 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。または ACC に入れる。

- ナビゲーションの電源が入ります。



2 注意事項を確認して、**確認** にタッチする。



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

3 見通しの良い場所で、GPS 信号 (GPS) を受信していることを確認する。



- GPS マークが表示されないときや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。(取扱説明書「ナビ編」)

② 取付角度・車両信号情報・拡張ユニット情報の確認をする

1 MENU を押す。

- ツートップメニューが表示されます。

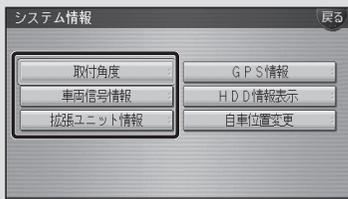
2 情報 / 設定 にタッチする。



3 情報 → システム情報 にタッチする。



4 設定する項目を選ぶ。



→ 取付角度 / 車両信号情報 / 拡張ユニット情報それぞれの手順 5へ (右記)

取付角度

5 取り付け角度を設定し、**決定** にタッチする。



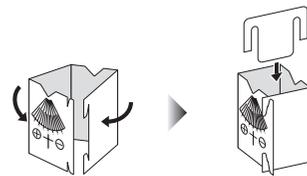
- 調整範囲：0° ~ 30° (5° ステップ)

お願い

- サラス SALAS (取扱説明書「ナビ編」) による、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。(お買い上げ時は、「未設定」となっています。)

■ 取付角度を測る

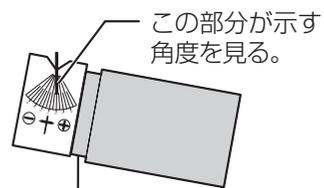
① 取付ゲージを組み立てる。



お願い

- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

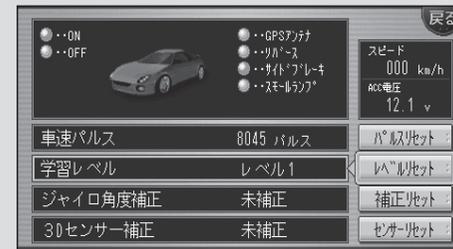
② 車体が水平になる場所で、取付ゲージの ⊕ 側をナビゲーション本体の前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。



この部分が示す角度を見る。
モニターの傾きを変えずに(全閉状態で)測ってください。

車両信号情報

5 車両信号を確認する。



- ① 「GPSアンテナ」「リバーズ」「サイドブレーキ」「スモールランプ」「スピード」「ACC電圧」を確認する。
- ② 「パルスリセット」にタッチして、「車速パルス」をリセットする。同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」もリセットする。
- ③ 現在地画面を表示させ、平均時速 20 km 以上で見通しの良い場所をしばらく (60分程度) 走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」を確認する。

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバーズ	シフトレバーをR(リバーズ)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12V(11V~16V)になっていますか？
車速パルス*	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル3が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？
3Dセンサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

※車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

拡張ユニット情報

5 拡張ユニットの取り付けを確認する。



SDメモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット	別売のETC車載器(CY-ET906D/KD、CY-ET806Dなど)を接続している場合、ON表示になっていますか？
デジタルチューナー	別売の地上デジタルチューナー(CY-TUD600D:2007年1月発売予定)を接続している場合、ON表示になっていますか？
iPod	市販のiPodを接続している場合、ON表示になっていますか？

お知らせ

- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 市街地などで渋滞・停車を頻りに繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。
- 車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

以上で取り付け・配線の確認は終了です。

不完全な項目があるときは、正しく取り付け・配線されていない可能性があります。再度取り付け・配線を確認してください。